

中経 論壇

経営支援NPOクラブ
川上 博史



心理が一気に増幅され、自粛やむなしといった世論が形成された。

世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症。有効な治療法やワクチンの開発が確立していない状況下、世界中の人々を不安に陥れ、混乱を巻き起こしている。我が国においては、ダイヤモンドプリンセス号での感染拡大を契機に人々の不安が大きくなり、お茶の間のお馴染みタレント志村けんさん、岡江久美子さんの急逝で、身近に危険が迫っているという不安

医療崩壊の危機が迫るぎりぎりのタイミングで、政府から4月7日に緊急事態宣言が発令され、人とモノの移動が半ば強制的に制限される中、

当たり前の生活スタイルが崩壊し、日本中の人々がかつて目にしたことのない街の光景を見るようになった。この劇的な社会変化で大打撃を被ったのが、バー・居酒屋などを

含む飲食業、旅行・観光業、イベントを含むサービス業、一部自動車関連製造業などの

二元対立から抜け出し「共存」を

新型コロナ禍「多」「長」「根」で見える

業種である。

この間、国民の理解と協力で自粛生活が定着し、感染者数が大幅に減少したのを見計らって、5月25日に緊急事態宣言が解除されることになった。そして、人とモノの移動の制限が取れると、都心部で若者の感染者が急拡大し、またまた緊急事態宣言発動の是非が問われようとしている。

この半年間で学習し、蓄積してきた知見をもとに新型コロナと共存しながら、ある程度安全安心が保たれる新たな日常生活の在り方や商売の仕方を一人一人が自覚し、知恵を出し合って新構築していくことが重要だと思ふ。人間学の思想家、安岡正篤氏の「多」「長」「根」、即ち、①多角的・複眼的に物事を見る、②長期で見通す、③枝葉末節ではなく根本に注意を向ける、という態度は、混乱の時代を生きる我々に、勇気と希望を与えてくれ、とても示唆に富んでいると思ふ。

このように相反する二つの要素を対立させて「是か非か」「善か悪か」「物質か精神か」「医療か経済か」のように、二者択一的に議論する場面によく遭遇するが、こうした二元対立的な思考の決して問題解決には至らない。新型コロナウィルス感染症という未知の敵との闘いに打ち克つためには、「対立」から「共存」へ大きく舵を切り替えるなければならない。

この半年間で学習し、蓄積してきた知見をもとに新型コロナと共存しながら、ある程度安全安心が保たれる新たな日常生活の在り方や商売の仕方を一人一人が自覚し、知恵を出し合って新構築していくことが重要だと思ふ。人間学の思想家、安岡正篤氏の「多」「長」「根」、即ち、①多角的・複眼的に物事を見る、②長期で見通す、③枝葉末節ではなく根本に注意を向ける、という態度は、混乱の時代を生きる我々に、勇気と希望を与えてくれ、とても示唆に富んでいると思ふ。